

ご存じですか？ 江戸城本丸御殿のこと



(当会「事業概要書」)

1. 1860年（万延元年）新築された「万延度本丸御殿」のCG復元（監修・執筆平井聖・小粥祐子）

よみがえる江戸城（NHK出版）は、平成20年（2008）平成26年（2014）の6年にわたり、行われてきた昭和女子大学と江戸城本丸御殿の映像的復元のため基礎研究の成果と云われています。

2. この共同研究は、東京都立図書館の全面的な協力を戴きながら、東京国立博物館・清水建設ほかいくつかの施設に所蔵されている資料を参照させていただき、「万延元年（1860年）11月9日に將軍が移った新築御殿、いわゆる「万延度本丸御殿」を出来る限りの資料に基づいて、再現しようという試みです。大工達が残した図面を読み解き読み解いて、現在通常使われている形式の建築図面に置き換える作業に携わりました。そして、その図面を基にNHK側で、CGによって本丸御殿の三次元の画像を製作するという協働作業です。これらの資料を残した甲良家は万延度の本丸御殿の作事に幕府作事方大棟梁として当時の大棟梁甲良棟全は、儀式・対面の場であった表及び將軍が使っていた中奥を担当しています。

3. 東京都立図書館の甲良家文書では「万延度の江戸城本丸御殿」の作事に関わる資料で現在まで残っている江戸時代の大工文書の中の白眉といえるもので、1987年国の重要文化財に指定されています。江戸城の第一人者である平井聖東京工業大学名誉教授が、それに基づき6年の歳月をかけて研究しCGをNHKが作成し、放映されたNHKスペシャル中では平井聖先生は「直ぐに復元できますよ。」と明言されています。先生は、2020年江戸城天守模型も監修されています。

4. 「よみがえる江戸城（NHK出版）監修・執筆 平井聖・小粥祐子・昭和女子大学協力・NHK」

小粥祐子先生は2019年8月、当会のセミナー「江戸城本丸御殿のインテリア（意匠）」で講演され、大変に好評でした。

4-1. 表（おもて）

玄関・虎の間（げんかん・とらのま）：

本丸への正式な出入り口

大広間（おおひろま）：

最高格式の儀式空間

松の廊下（まつのろうか）：

歴史の舞台になった廊下

白書院（しろしょいん）：

大広間に次ぐ正式な場

竹の廊下（たけのろうか）：

白書院余黒書院を結ぶ廊下

黒書院（くろしょいん）：

より日常的な応接間

4-2. 中奥（なかおく）

御座の間（ござのま）：

将軍の執務室

御休息（ごきゅうそく）：

将軍の日常生活の場

御小座敷（おござしき）：

将軍が身支度をする居間



4-3. 大奥等その他

（〔監修・執筆〕平井聖〔執筆〕小粥祐子〔協力〕昭和女子大学・NHK映像デザイン部他（2014）『よみがえる江戸城』NHK出版）

近未来の世界遺産を目指そう！

次の世代に近未来の日本へ かけがえのない歴史と文化を繋ぐために、
あなたもこの運動に参加しませんか？

2021 年度 歴史建造物・佐賀城本丸御殿の復原（事例研究）のセミナーを予定しています。
皆さま、ご参加をおまちしております。